



認知症のじい

瀬高小学校 三年 庄村 陽菜

わたしは、「認知症」と聞いて、何の病気かなと思いました。

オレンジ教室ではじめに、認知症は六十五歳以上の人がなりやすくて、色々な事を間ちがえることがあると教えてもらいました。次に、「くしゃくしゃ笑顔とや・さ・し顔」という本を読んでもらいました。主人公のおばあちゃんは、リーのせん手だったのに、今は、歩くのもおそくなっていました。わかることもあるけど、上手にできないこともあるのがすごいなあと思いました。心にのこった言葉は、主人公の「おばあちゃんのいいところをさがしつづけようと思います」のところ。主人公がおばあちゃんのことを思っているんだなと思ったからです。

もう「さつ、「おばあちゃん、ぼくにできることある？」という本も学級で読んでもらいました。オスカーは、手伝おうと思ってるのに、認知症のおばあちゃんを見ると、何をしているのだろうと思つてにげ

しまう時もあるとありました。わたしは、小さい時、おじいちゃん、おばあちゃんとよくおにごっこをしていました。今は、そんなおじいちゃん、おばあちゃんも何かにつかまらないうと、立つたりしゃがんだりできない時や、重いものが持てない時があるそうです。おじいちゃん、おばあちゃんになるにつれて、どんどんできなくなることがあるんだなあと思いました。もし、おじいちゃん、おばあちゃんが認知症になつたらかなしいです。だから、え顔でやさしい声かけをして、大きな声で、ゆつくり話そうと思

ます。さい後まで話を聞いて、間ちがえてもわらわらないでいたいと思います。これから、もつといろんな病気を知つてちがう病気だつたら、どう対おうすればいいかを知りたいと思いました。認知症の人にも、ちがう病気の人にも同じようにやさしくしたいと思



【先生のコメント】  
オレンジ教室で認知症の学習をしましたが、まだ、ピンとこないところがたくさんあったことでしょう。それでも、真剣に考える陽菜さんの姿に優しさが感じられました。おじいちゃん、おばあちゃんとの思い出を新たにページ作り、大切にして下さい。これから、高齢者の方々との交流を通しながら、さらに学習していきましょう。コロナ禍で人と人との関わりが狭められている時期です。だからこそ、つながりを大切にしましょう。

人権相談のお知らせ(無料)

【人権何でも相談所】

日時 3月16日(水)午後1時～4時  
場所 山川市民センター

相談内容 いじめ、体罰、部落差別・男女差別・外国人差別などの差別問題、家庭内(夫婦、親子、結婚、離婚、扶養、相続など)・借地借家・相隣間のもめごと、悩みことなど

【女性のための特設相談所】

日時 3月16日(水)午前10時～午後3時

場所 山川市民センター

相談内容 DVやセクシアル・ハラスメント、ストーカー行為などの女性の権利に関する事  
※女性の権利擁護委員が相談に応じます

【常設相談】

時間 午前8時30分～午後5時15分  
(土、日、祝日を除く)

場所 福岡法務局柳川支局

相談担当者 法務局職員または人権擁護委員  
相談電話番号 (TEL)0570-003110

人権擁護委員再任のお知らせ

人権擁護委員の十時文雄さん、山下昭美さんが再任されました。任期は3年です。

人権擁護委員は、人権に関する相談を受けたり、人権についての理解を深めてもらうための活動を行っています。

福岡法務局柳川支局(TEL72・2640)

「カラオケ 花花」 山本 美香さん

「みやま市は魅力ある所だと思えます。交通アクセスも抜群によく、おいしいお店もたくさん。食も人も大好きです」と語るの、カラオケボックスを運営している山本美香さん。

とも。二人一人との関係づくりが、サービスマスターの醍醐味だと思えます」

音楽は人生を元気に過せるコツ  
音楽は常にその人の背景を彩るものと語る山本さん。「選曲される年代で生きてきた人生が垣間見える気がします。カラオケを通じてお客様の日常を彩れるなら、幸いです。音楽は人生を元気に過せるコツだと思えます。」

人とのつながりを大切にしている山本さん。嬉しかったことは、学生アルバイトをしていたスタッフがUTター

域でのコミュニケーションとしてありつづけること。「たとえば、子育て中のお父さん・お母さんの気分転換の場所など、固定概念に縛られることなく、個々でいろいろな使い方をしていたらいい。みんなに楽しんでもらえる場所づくりを心掛けたいです。手探りながらもできることはやっていきたいですね」と笑顔で素敵な目標を語ってくれた。



やまもと みか  
趣味はソフトバレー、ゴルフ、読書  
【座右の銘】  
失敗をすることを恐れるより、何もしないことを恐れる  
【みやまにひとこと】  
学生さんがきちんとあいさつができて元氣♡

みやま文芸

高田町句会

初天神疫病祓ふ神鼓かな

岩屋 清美

早春の河辺の彩を摘みに行く

板橋 寿

堂開く余寒の闇を軋ませて

鹿子生憲二

おみくじを結はへてありし梅の花

紙田 幻草

さくさくと貝がら踏みて春隣

猿渡 洋子

探梅の小道脇道回り道

西山ワカ子

通夜の帰路仰ぐ寒月冴え冴えと

野田 憲二

星々の浄めしみ空初茜

野田岳比古

立春や白寿祝ひの花を買ふ

松尾 光恵

※俳句・短歌は市内の団体から提供いただいたものを順次掲載しています。

取り組もうオールみやまの共同参画

大橋 渡

令和3年度みやま市男女共同参画推進  
キャラクター入賞作品